

平成29年度市民討議会提言内容の進捗状況一覧表 (令和元年度末現在)

討議テーマ1	地域の行事に関わる人を増やすには？		
提言	市民は地域・団体に所属していなくても関心があれば、その行事の運営を含めて参加したいと考えています。 市民自らが地域の行事に関心を持ち、積極的に関わるために以下2点を提言します。		
詳細	進捗状況	関係部署	
1) 地域間の情報発信を望みます。 地域全体の活性化を促進するために、自治会や団体が主催する行事を相互に情報発信することが有効と考えます。そこで、地域の代表が集まる連絡会や協議会などで情報交換が出来るような働きかけを望みます。	第4回区長会で第1区区長から「生田紅葉まつり」の開催案内、チラシが各区長に配布され、イベントへの参加が呼びかけられました。また、第40区区長から第29区、第38区と共同で滝呂校区として令和2年5月に滝呂ブラブラ祭りを開催する予定であることを8月に開催した意見交換会等で紹介されました。 次年度以降も同様に各区の情報交換を促していく予定です。	暮らし人権課 秘書広報課 (終了)	
	青少年まちづくり市民会議で検討したところ、各校区市民会議の交付金の範囲内で景品等の物品を用意すること、雨天順延の可能性のある行事が多数あること等を鑑み、全校区市民会議年間行事カレンダーの作成は見送られました。個々の行事については、各校区市民会議からの要望があれば、市ホームページに掲載し、市民の皆さまへお知らせすることは可能です。	教育推進課 (終了)	
2) 新しい発想の行事の企画を望みます。 従来の参観型イベントに加え、市民自ら企画し参加できる多治見独自の自由でユニークな行事（区や校区対抗で競う『たじみオリンピック』や『ギネスに挑戦』など）の開催を望みます。	多治見市観光協会の法人化に伴い、新発想のイベント等を展開しています。平成29年度に実施した本市のポテンシャル等を把握するための調査結果を踏まえ、企画立案を進めます。	産業観光課 (終了)	
	市主催の「元気な多治見！うながっポーツの日」や「たじみ健康マラソン」では市民・団体の方を中心とした実行委員会形式で企画・運営を行っており、「たじみ健康マラソン」では仮装ランナーの部を設ける等、ユニークな内容になるよう工夫しています。今後も新しい発想の企画を取り入れていきます。	文化スポーツ課 (終了)	

討議テーマ2	多治見駅周辺の施設や活動拠点をどのように活用しますか？		
提言	市民が多治見駅周辺の施設や活動拠点を有効に活用するため、以下2点を提言します。		
詳細	進捗状況	関係部署	
1) 駅周辺のアクセスの利便性向上を望みます。 駅周辺には市民生活に直結する商店街や図書館など文化施設の他、市民病院や税務署、国土交通省など公的機関も点在します。アクセスの利便性の向上と、市民の日常生活をサポートするために、公設民営の電動アシスト仕様のレンタサイクル設置を望みます。	多治見まちづくり株式会社（TMO）が駅北立体駐車場敷地内においてレンタサイクル事業を平成31年度から開始予定です。市としては、国土交通省の補助金を活用し補助（国1/2、市1/2）を行う予定です。	産業観光課 (終了)	
2) 駅周辺の施設の利用に関する利便性向上を望みます。 虎渓用水広場や、ヤマカまなびパークなどの公的施設の利用案内や利用手続きを分かり易くして施設の利用を促進することを目的に、庁内の一部署が担当する、あるいは指定管理者のうち何れかがその業務を受託するなど一元化することを望みます。	占用利用が可能な公共施設については、既にパソコンやスマートフォンの「公共施設予約システム」で一元的な受付が可能となっています。 なお、虎渓用水広場やバロー文化ホールなど一部施設については、団体の利用目的などをあらかじめ管理者で確認するため、事前協議を必要としています。このような課題があるため、施設予約の受付を完全一元化することは困難です。	企画防災課 (終了)	

討議テーマ3	多治見がにぎわうためにどのような関わりが持てますか？		
提言	市民は多治見市のにぎわいに積極的に関わりを持ち、貢献したいと考えています。しかし、個人の力では困難であるとも考えており、行政による働きかけを望んでいます。多治見のにぎわいに市民が積極的に関わるために、以下2点を提言します。		
詳細		進捗状況	関係部署
1) 市民が多治見を知り、より親しみを増幅させるための勉強の機会を設定することを望みます。 市民が楽しみながら多治見の文化・歴史・産業・地理・気候・風土…等を学び、多治見の素晴らしさを自ら認識して発信していくことを目的として、『多治見検定』の企画、実施を望みます。		多治見市ボランティアガイドへの加入が多治見を知る勉強の機会と考えています。『多治見検定』の実施の可能性について、引き続き関係諸団体等と検討します。	産業観光課 (終了)
2) 地産地消の更なる取り組み強化を望みます。 市民は多治見の産業・経済を支援するため、多治見のものを使い多治見で消費します。 行政においても更なる地産地消の推進を望みます。		市政運営の中で、駅北農産物直売所や公共施設へのタイル施工等、地産地消を積極的に推進しています。平成30年度からは、新たに「建築物における美濃焼タイル施工補助金」により地産地消を推進しています。	産業観光課 (終了)